

令和4年度 おおいたっ子ワンニャン検定 テキストブック(保護者用)

○犬に関すること

犬は飼主が帰宅したとき、食事をもらえるとき、散歩に出かけたとき、嬉しいという感情のときにしっぽを振ります。

ただし犬は、緊張したときや、恐怖や不安を感じているときなども、しっぽを振ることがあります。

つまり、興奮したときにしっぽを振ると考えられています。

そのときどんな気持ちなのかは、しっぽ以外の部分もよく見てあげて、読み取ってあげる必要があります。

犬は肉食のように見えますが、実は雑食です。

犬の祖先である野生のオオカミは肉食だったと考えられていますが、オオカミは狩った獲物の内臓から食べ始めます。

その腸や胃には反消化状態の植物が入っていて、内臓ごと食べることで、植物を間接的に摂取していたとされています。

犬には玉ねぎを絶対にあげてはいけません。

犬が玉ねぎを口にすると、中毒症状を起こし、場合によっては重症化や死に至ることも。

玉ねぎに限らず、長ねぎやニラ、ニンニクといった食材も犬にとっては有害な食べ物なので、ねぎ類全般はNGだと認識しておきましょう。

犬の嗅覚は人の100万倍です。

犬は、人よりもはるかに嗅覚が優れていることが分かっています。これは匂いを感じ取るための嗅細胞を、犬の方がたくさん持っているためです。

おいしいものがあるときの匂い、飼い主さんが違う匂いをつけてきたとき、さまざまな匂いに、犬は非常に敏感なのです。

犬の味覚は人間ほど高度に発達していません。

人間の舌の表面には約6000個の味覚情報を得る細胞の味蕾がありますが、犬にはこれが約1700個しかありません。

犬はあまり味覚が鋭くなく、その中でも塩味はほとんど感じないといわれています。

犬には歯磨きが必要です。

歯石が溜まったまま放置すると歯周炎や歯周病の原因となり、歯の健康だけでなく身体全

体の健康維持に大きく影響します。

現在の歯石の状態や歯石の除去などについては、動物病院に相談しましょう。

日常的に歯ブラシで磨いたり、ガーゼ等で拭いたり、ガムを噛ませたりして、歯石が付着するのを予防することが大切です。

人の口内が弱酸性なのに対して、犬や猫の口内はアルカリ性で性質が違います。

主な違いは、人に比べて虫歯になりにくく、歯石ができやすいというところです。

こまめな歯磨きが必要である事に違いはありませんが、歯石は一度ついてしまうと取るのが難しい為小さいころから歯磨きの習慣を付けましょう

犬が有害・危険な異物を飲み込んでしまう誤飲事故は、外出が増える春や夏に増えると思われがちですが、実際には冬に発生が多くなります。

12月のクリスマス、1月のお正月、2月のバレンタインなど楽しいイベントが目白押しである時期は、誤飲に一層注意が必要です。

犬が健康なのに散歩の途中で座り込むのは、自分の要求を通そうとするとき、あるいは、飼い主の注目を浴びたいときです。

散歩のコースやペースは、基本的に飼い主が主導権を握ることが大切です。

子犬が兄弟同士でかみついたり、うなったりしているのは、たいていは遊びです。

そうした遊びを通じて体を鍛え、他の犬とのコミュニケーションをとる方法を覚え、群れの動物として成長していきます。

飼い主が犬の健康を考える時に、忘れてはならない病気の一つとしてフィラリア症があります。

フィラリア症は犬糸状虫症とも呼ばれ、蚊がフィラリア（犬糸状虫）に感染している犬の血を吸う時にその幼虫を一緒に吸い、他の犬の血を吸う時にその幼虫が体内にはいることで感染します。

フィラリアは成長すると 12～30cm にもなる細長い糸状の寄生虫で、犬の心臓や肺動脈に寄生して、心臓や肺、肝臓、腎臓などにも様々の病気を起こし、重症化すると死に至ります。従って、お住まいが山間部でも蚊の発生は考えられますので、必ず予防処置が必要です。

シェパードやドーベルマンといった大型犬のイメージが強い警察犬ですが実は、ミニチュア・ダックスフントの警察犬がいます。

石川県警では、シェパードやラブラドル・レトリバーに加えてミニチュアダックスフントが囑託警察犬に選ばれ、犯罪捜査や行方不明の捜索に協力しています。

1931年に、オーストラリアで暮らしていた犬が、「29歳5ヶ月」という長い犬生を送りました。

犬の平均寿命は14.48歳。ケガや病気に気を付け、毎日適切なごはんや運動、コミュニケーションを通して、できるだけ長生きできるよう、飼い主としてサポートしていきましょう。

2010年、アメリカに住むグレート・デーンのジョージが、世界一大きい犬としてギネス認定されました。

鼻先から尻尾までの長さは約2メートル、体重は約111キロです。

2016年に「世界一背の高い犬」としてイングランドのグレート・デーン、フレディがギネス認定されています。

盲導犬・介助犬などの補助犬は、ラブラドル・レトリバーがほとんどです。

その他、ゴールデン・レトリバー、F1（エフワン）と呼ばれるラブラドルとゴールデンのミックスなどです。

介助犬では、スタンダード・プードルも活躍しています。

聴導犬は、私達の周りには様々な犬種が活躍します。

2022年4月現在、国際畜犬連盟に公認されている犬種は355種類です。ただし、これは一つの国際的な団体による基準で、現在、世界には非公認犬種を含めて700~800の犬種があるといわれています。

犬種の「パピヨン」は「Papillon」と書くフランス語で、意味は蝶です。パピヨンの耳の形が蝶の羽に見えることから、名付けられました。

犬種の「チワワ」は、出身地がメキシコのチワワ州というところからきています。

発見されたときから飼い犬としてかわいがられていたようで、根っからの愛玩犬といえます。

犬が泳ぐスピードは、スピードの出にくい犬かきで泳ぐため、人の時速6.5kmより遅く、時速4~5kmほどです。

ニューファンドランド、ポーチュギーズ・ウォーター・ドッグ、チェイサピーク・ベイ・レトリバーなどは泳ぎの上手い犬種と言われています。

現在最も走るスピードが早いと言われている犬は「グレーハウンド」です。

走るスピードは、時速60~70キロほどあると言われます。

ちなみに、警察犬などとしても有名なドーベルマンも走るスピードが時速40キロを超える

とされています。

世界一高価な犬種であるチベタンマスティフは、中国のチベット高原を原産地とする超大型犬です。

純血のチベタンマスティフは、ジャイアントパンダを引き合いに出すほど、希少で高価といわれています。

その最高売却額は、1200 万元（約 2 億円）です。

○犬猫共通

犬の歯の数は 42 本。猫の歯は 30 本です。

犬の永久歯は基本的には、片側ずつ、上顎に切歯 3 本・犬歯 1 本・前臼歯 4 本・後臼歯 2 本、下顎に切歯 3 本・犬歯 1 本・前臼歯 4 本・後臼歯 3 本です。

一方猫では、片側ずつで、上顎に切歯 3 本・犬歯 1 本・前臼歯 3 本・後臼歯 1 本、下顎に切歯 3 本・犬歯 1 本・前臼歯 2 本・後臼歯 1 本です。

この歯を守るために、歯みがきを通して口内環境をキレイにしてあげるのも飼い主の義務です。

犬も猫も、汗をかくための汗腺を持っています。

汗腺には「アポクリン腺」と「エクリン腺」の 2 種類があり、犬猫の全身にあるのは「アポクリン腺」です。

一般的に汗と聞いてイメージするようなサラッとした水っぽい汗を出すのは「エクリン腺」ですが、犬猫の場合これは肉球にしか存在しません。

この水っぽい汗は体温調節の役割をしていますが、犬猫は肉球にしか存在しないので、彼らは体温調節が苦手です。

犬の舌には、甘味がわかる細胞がありますが、猫には甘味を感じる細胞がありません。

これは、野生動物だったときの名残だそうです。

犬は肉食ですが果物や野菜などの植物も食べるのに対して、猫は完全なる肉食動物なので、甘味を感じる必要性がなかったといわれています。

令和 3 年の全国犬猫飼育実態調査結果によると、犬は 710 万 6 千頭、猫は 894 万 6 千頭です。

2017 年に、1994 年の調査開始以来、初めて猫が犬を上回りました。

全世界で生息している犬と猫を比べると、犬に約 2 億匹の差をつけて、世界中には約 6.3 億匹の猫が飼われているそうです。

猫は犬よりも耳が良く、犬の2倍、ヒトの4倍といわれています。

猫の聴覚の能力は、犬の聴覚の能力よりも優れています。

犬の可聴域が65～5万Hzに対して、猫は25～7万8千Hzとなっています。

ちなみに人は16～2万Hzが可聴域で、猫は人が聞き取れない超音波を聞き取れることになるのです。

人間と猫の脳の構造は90%同じといわれています。

猫の脳は人間の脳と9割近くも同じ構造をしていて、大脳皮質が発達しているので「感情が豊か」とのことです。

犬や猫に限らず、全てのペットが受動喫煙による健康被害を受ける可能性があります。

タバコの煙（副流煙）に含まれる化学物質は、人間のみには害があるわけではありません。

もちろん、喫煙による煙の害だけではなく、タバコ自体を飲み込んでしまう事故等も考えられます。

人間の赤ちゃんがお家にいるのと同じだと考えてあげましょう。

○猫に関すること

猫の血液型で最も多いのは、A型です。

猫の血液型について 猫には3種類の血液型があり、A型、B型、AB型の3つに分類されています。多くの猫はA型で、B型は猫の種類によってときどきみられ、AB型は非常に少ないようです。

猫が温度を感じているのは、鼻です。

食べ物を食べる時、鼻で吸い込んだ空気を感じ取って、熱い冷たいと温度を判断しているのだそうですよ。

猫は食べ物を食べる時、鼻で吸い込んだ空気の温度を感じ取って熱いかどうかを判断しているといわれています。

猫の鼻には温度を感知できる働きが備わっているため、0.5度の温度変化にも反応できるそうです。

アメリカのライスタイルペットという会社が色々な猫を掛け合わせ、品種改良した新種の猫が「アシェラ」です。

そのお値段は、日本円にすると250万～1500万程とのこと。

野性種のアフリカンサーバルとアジアンレパード、そして一般的にペットとして飼われているイエネコのベンガルを掛け合わせています。

生まれて間もない子猫の目の色は、品種に関わらず虹彩に色素が沈着していない場合が多く青く見えます。

子猫の目がキトンプルーである理由として、生まれて間もない子猫は、虹彩の色素が極端に少ないことがあげられます。

この少量のメラニン色素は、長い波長である赤やオレンジの光を吸収し、短い波長の青色や紫色を散乱するため、人間が見ると、猫の目が青く見えるのです。この現象は「レイリー散乱」と呼ばれます。

ネギは猫に絶対に与えてはいけない禁忌食です。

ネギ類に含まれる有機チオ硫酸化合物などの化合物は、猫の赤血球内のヘモグロビンを破壊し、溶血性貧血を起こしてしまいます。

三毛猫にメスが多いのには、毛色を決める染色体が関係しています。性別を決める 2 本の染色体が XX だとメスが生まれ、XY だとオスが生まれます。

そして、猫の毛色を決める染色体は、メスの染色体 X であり、オスの染色体 Y には毛色を決める性質はありません。よって、黒と茶の 2 色を同時に持つためには、毛色を決める X 染色体が 2 つ必要になります。

ちなみに白色の毛色の遺伝子はオスメスともに最初から持っているもので、メスは白黒茶の 3 色、オスは白黒または白茶の 2 色までしか持てないことになります。

ですが、ごく稀に生まれる染色体 XXY を持つオス猫が生まれます。これはクラインフェルター症候群といわれ染色体異常で、確率は 3 万分の 1 といわれています。よって、三毛猫のオスはとても希少価値が高いのです。

猫は日常的によく寝ていますが、子猫のうち、20 時間ちかく、成猫になっても 14~16 時間くらいは寝ていて、最大 20 時間にものびります。

つまり猫は生きているうちの 2/3 を寝て過ごします。

猫の名前の由来は「寝る子」から「ねこ」と変化したという説もあるぐらい猫はよく寝ます。

猫を飼っている人の病気のリスクについては、脳卒中と心臓発作のリスクが 1/3 まで減少するといわれています。

米国ミネソタ大学の長年に渡る研究で、猫を飼っている飼い主さんにはストレスが少なく、心臓発作が 40%、脳梗塞が 33%、脳卒中が 30%、命に関わる重篤な循環器系疾患が 30~40% もリスクが減ることがわかりました。

猫の利き手について、おもちゃを使ってどちらの手で最初にパンチするかを実験したところ、性別によって利き手が異なっていました。

大半の飼いネコに、左右どちらか好んで使う手、つまり「利き手」があるといます。しかも利き手は性別によって異なり、オスは左手を、メスは右手を使う傾向にあります。

コピ・ルアクとは、ジャコウネコの糞から採られる未消化のコーヒー豆のことです。ジャコウネコが食べたコーヒー豆の排泄物を洗浄・乾燥させて作られたものです。

米国テキサス州に住むタビー猫のダスティは 1952 年 6 月 12 日の最後の出産まで、生涯に 420 匹の子猫を生みました。

猫には、鼻に「鼻紋」と呼ばれる紋様があり、人間の指紋と同じように、猫によってその紋様の形が異なります。

猫の体温は人間よりも少し高く、一般的な平熱は 38 度から 39 度です。

子猫はもう少し高く、高齢の猫は少し低くなります。

ストレスや興奮により、一時的に体温が上がることはありますが、これは自然な反応なので心配ありません。

ギネスブックに登録されている歴代最高齢の猫は、アメリカテキサス州で飼われていた「Creme Puff (クリーム・パフ)」という名前の猫です。

1967 年 8 月 3 日に生まれ、2005 年 8 月 6 日まで生きたので、「38 年間と 3 日」も生きていました。

一般社団法人ペットフード協会が発表した「令和 2 年 全国犬猫飼育実績調査」によると、猫全体の平均寿命は 15.45 歳。犬全体は 14.48 歳だったので、比較すると猫の方が長生きだという結果が出ました。

猫は全ての哺乳類の中で、もっとも新しく家畜化された動物種で、野生の先祖種と比べて形態的にも行動上でも家畜化による変化がもっとも小さいです。

猫は紀元前 2000 年から 3000 年の間にエジプトで家畜化されたと考えられています。

猫のしっぽは犬のように感情を読みやすいものです。

猫がしっぽを振るときは怒っている時や興奮している時が多く、甘えるときはピーンと上に伸ばす事が多いので、感情を読み違えて怒らせないように注意しましょう。

猫の食習慣や好きな食べ物は生後 6 ヶ月頃までに決まるといわれています。

公認猫種の中で世界最小といわれているのは、シンガプーラです

シンガプーラ (Singapore) はネコの品種のひとつ。小型のネコであることから、小さな妖精とも呼ばれます。

原産国は 1970 年に初めて発見されたシンガポールです。

現在、公認されている純血種の中では世界最小で、成猫のオスでも 2kg ほどにしかならないと言われてています。

メインクーンは、公認されている猫種の中で 1 番大きいとされている猫です。

その起源にはさまざまな説があり、アメリカのメイン州で生まれたことから、メインクーンと呼ばれているという説があります。

猫アレルギーの原因は、猫の唾液やフケ、尿、肛門腺などに含まれるアレルゲンというごく微量な物質です。

そして猫アレルギーの主犯は「Fel D1」と「Fel D4」という 2 つの物質です。

この 2 つは主に唾液やフケ、尿糞などとして外に出てきます。

サイベリアンは、シベリア生まれの温厚な大型猫です。低刺激性猫として最も有名だと思われれます。

一般に低刺激猫は抜け毛などが少ない短毛種が多いですが、サイベリアンは長毛種です。

サイベリアンは他の猫種に比べ、Fel D 1 の生産量が少ないと言われてています。

一説によれば猫アレルギー持ちの 75% は、サイベリアンに対しては反応を起こさないようです。

サイベリアンの他にも、バリニーズやロシアンブルーは、Fel D 1 の生産量が少ないと言われてています。

マンクスは、イギリスのマン島を発祥とする尻尾の無いネコの品種です。

マンクスにはランピーと呼ばれる完全無尾のものやスタンピーと呼ばれる株のような動かない尾のあるもの、ロンギーと呼ばれる短めから長めの尾のあるものがあります。